

第3回黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会 開催概要

開催概要

平成27年9月に発生した関東・東北豪雨により大規模な浸水被害が発生したことを踏まえ、黒部川において氾濫が発生することを前提とし、**地域全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的**として、昨年5月に設立された「黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」であるが、水防法の一部改正等により県管理河川においても、同様に協議会を組織することとなった。

これを踏まえ、平成29年6月2日に「第3回黒部川大規模氾濫に関する減災対策協議会」を開催し、富山県の管理河川を対象として盛り込み、改めて、黒部川を中心とした流域における水防災意識社会の再構築を目的とする協議会とすることが決まった。

また、これまでの取組内容の進捗状況と今後の予定についても併せて確認した。

日時・出席者・議事等

- 日時 | 平成29年6月2日(金) 9:30~11:30
- 会場 | 黒部河川事務所 2階 大会議室
- 出席者 | (構成機関)黒部市、入善町、朝日町、新川地域消防組合、富山県新川土木センター入善土木事務所、富山県新川農林振興センター、富山県土木部河川課、富山地方気象台、黒部河川事務所 (オブザーバー)関西電力(株)北陸支社黒部川電力所、北陸電力(株)魚津支社電力部、あいの風とやま鉄道(株)
- 議事 | ・第2回協議会の開催概要について
・水防法等の一部改正について
・富山県の取組予定について
・規約改正(案)について
・平成28年度の取組報告及び今後の予定について

新たな取り組み

対象とする河川を広げる

- ◇(国) 黒部川
- (県) **境川、笹川、木流川、小川、山合川、舟川、吉田川、高橋川、黒瀬川**

名称の変更

- ◇黒部川**等**大規模氾濫に関する減災対策協議会

参加自治体首長等からの主な意見



◆黒部市長
将来的には黒部川の洪水ハザードマップと県管理の2級河川の洪水ハザードマップを合わせたものをイメージしているのか。提示する資料は、地域住民にわかりやすいものにしていただきたい。



◆入善町長
ハザードマップの作成にあたり、新たな県管理河川の浸水想定情報のみならず、海岸部の津波による浸水想定を含めて、まとまった情報を提供していただきたい。各情報の提供の仕方についても教えていただきたい。



◆入善土木事務所長
今年度から、県管理河川についても氾濫危険水位に達した時に、各首長にホットラインで連絡を差し上げる予定である。



◆富山地方気象台次長
学校防災教育が重要で、全国的な取り組みでもある。県や市町の教育委員会と連携して進めていくことが必要で、取組については、もっと学校防災教育に特化してもいいのではないかと考える。



◆富山県土木部河川課長
県管理河川の洪水浸水想定区域図については、5ヶ年で計画しているが、1年でも2年でも早く提供できるように努力したい。ハザードマップの作成にあたり、関係市町と調整していきたい。